

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2002-194264 (P2002-194264A)

【公開日】平成 14 年 7 月 10 日 (2002.7.10)

【出願番号】特願 2000-394733 (P2000-394733)

【国際特許分類】

C 0 9 D 127/12 (2006.01)

B 0 5 D 5/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 201/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 127/12

B 0 5 D 5/00 H

B 0 5 D 7/24 3 0 1 C

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 201/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 30 日 (2007.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記共重合体 (A)、共重合体 (A) 以外の重合体 (B)、及びヒドラジノ基を有し重合体ではない化合物 (C) を、共重合体 (A) / 重合体 (B) / 化合物 (C) = 0.1 ~ 100 / 100 / 下記 W の質量比で含有し、水を含有することを特徴とする水性塗料組成物。

共重合体 (A) : ポリフルオロアルキル基を有する単量体 (a) の 0.1 ~ 99%、カルボニル基を有し、ポリフルオロアルキル基を有さない単量体 (b) の 0.1 ~ 80%、親水性基を有し、カルボニル基を有さず、ポリフルオロアルキル基を有さない単量体 (c) の 1 ~ 99%、及び、親水性基を有さず、ポリフルオロアルキル基を有さず、カルボニル基を有さない単量体 (d) の 0 ~ 80%、を共重合して得られる共重合体。

W : 化合物 (C) 中のヒドラジノ基の数 (X) / 水性塗料組成物に含有される共重合体 (A) 及び重合体 (B) 中のカルボニル基の数 (Y) = 0.01 ~ 100 の比となる量。

【請求項 2】

下記共重合体 (A)、共重合体 (A) 以外の重合体 (B)、及びヒドラジノ基を有し重合体ではない化合物 (C) を、共重合体 (A) / 重合体 (B) / 化合物 (C) = 0.1 ~ 100 / 100 / 下記 W の質量比で含有し、水を含有することを特徴とする水性塗料組成物。

共重合体 (A) : ポリフルオロアルキル基を有する単量体 (a) の 0.1 ~ 99%、ケトン性カルボニル基またはアルデヒド性カルボニル基を有し、かつ、ポリフルオロアルキル基を有さない単量体 (b) の 0.1 ~ 80%、ポリオキシアルキレン鎖を有する単量体、カルボキシ基を有する単量体又はその塩類、スルホ基を有する単量体又はその塩類、リン酸残基を有する単量体又はその塩類、アミノ基を有する単量体又はその塩類、水酸基を

有する単量体、アミド残基を有する単量体、またはアルコキシアルキル基等を有する単量体であり、ポリフルオロアルキル基を有さない単量体（c）の1～99%、炭化水素系オレフィン類、ビニルエーテル類、イソプロペニルエーテル類、アリルエーテル類、ビニルエステル類、アリルエステル類、（メタ）アクリル酸エステル類、芳香族ビニル化合物、クロロオレフィン類、および共役ジエン類から選ばれる単量体（d）の0～80%、を共重合して得られる共重合体。

W：化合物（C）中のヒドラジノ基の数（X）／水性塗料組成物に含有される共重合体（A）及び重合体（B）中のカルボニル基の数（Y）＝0.01～100の比となる量。

【請求項3】

化合物（C）が、ジヒドラジド、または分子中に2個以上のヒドラジノ基を有するヒドラジン誘導体である請求項1または2に記載の水性塗料組成物。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかに記載の水性塗料組成物を被塗物に塗装する塗装方法。

【請求項5】

請求項4に記載の塗装方法により形成された塗膜を有することを特徴とする塗装物品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明は、下記共重合体（A）、共重合体（A）以外の重合体（B）、及びヒドラジノ基を有し重合体ではない化合物（C）を、共重合体（A）／重合体（B）／化合物（C）＝0.1～100／100／下記Wの質量比で含有し水を含有することを特徴とする水性塗料組成物を提供する。

共重合体（A）：ポリフルオロアルキル基を有する単量体（a）の0.1～99%、カルボニル基を有し、ポリフルオロアルキル基を有さない単量体（b）の0.1～80%、親水性基を有し、カルボニル基を有さず、ポリフルオロアルキル基を有さない単量体（b）の1～99%、及び、親水性基を有さず、ポリフルオロアルキル基を有さず、カルボニル基を有さない単量体（d）の0～80%、を共重合して得られる共重合体。

W：化合物（C）中のヒドラジノ基の数（X）／水性塗料組成物に含有される共重合体（A）及び重合体（B）中のカルボニル基の数（Y）＝0.01～100の比となる量。